

電圧・電流・電力 測定器

共立電気計器

共立電気計器は家屋やビル、工場における電気の竣工検査や保守点検が1台で計測できる複合測定器としてマルチファンクションテスター「KEW6514BT」に注力している。試験用アダプター「同8601」を活用することで、EV普通充電器（EVSE）の電圧や絶縁抵抗、CP信号（制御信号）解析などの電気試験ができる。

竣工検査では電圧と絶縁抵抗、接地抵抗、検相、漏電遮断器の確認など専用の試験器を用いる必要がある。

6514BTはこれらの測定機能を1台に集約。高い測定性能と利便性を両立した。絶縁抵抗測定は25 Ω から1000 Ω まで7レンジ切り替えができる。接地抵抗測定は精密測定（3極法）、簡易測定（2極法）に対応している。測定データは本体に自動記録する。搭載しているブルートゥース機能で、独自開発の測定記録アプリ「KEW Smart Advanced」と連携してアプリにも記録ができる。



共立電気計器は三相コンセントテスターをPR（「JEC A FAIR2024（第72回電設工業展）」）

「JEC A FAIR2024（第72回電設工業展）」が

ハンドヘルドは近距離無線技術であるブルートゥースを搭載し、タブレット端末と連携して測定データの転送や遠隔操作を実現。作業者の負担軽減に貢献する。現場測定の利便性を高める測定機能を

ベンチトップはEVなどのモーターやインバーターの電力変換効率評価試験や損失評価試験における高精度、広帯域、高安定な測定要求に応えている。

測定する電力計・パワーアナライザー、電源品質を測定する電源品質アナライザーなどが含まれている。研究開発では主に机上に置くベンチトップタイプ、保守・メンテナンスではハンドヘルドタイプが用いられ、目的や要求精度に合わせて選択できる。

高精度・広帯域・高安定

ベンチトップ▲ ▼ハンドヘルド

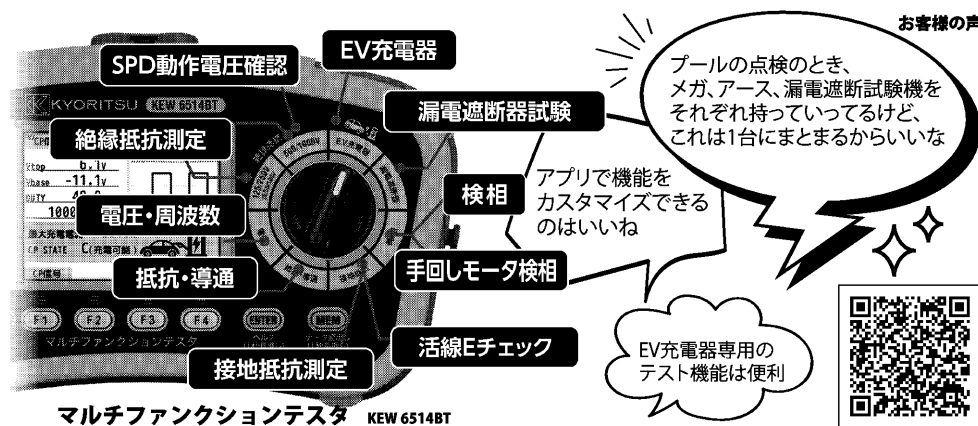
データ転送・遠隔操作

電圧・電流・電力測定器は電圧（ボルト）、電流（アンペア）、抵抗（レジスタンス）、電力（ワット）などを測定し、研究開発から生産、設備機器の保守・メンテナンスまで幅広く利用される。環境や省エネルギーの要求が高まる中、電気自動車（EV）の普及やデータセンターのインフラ需要に支えられ需要増に期待が高まる。

24年12月に発表した「電気測定器の中期見通し」によると電圧・電流・電力測定器の24年度の国内市場は、再生可能エネルギー関連の投資拡大や、EV普及の本格化が後押しして前年度比2・0%の増減が見込んでい

また、人工知能（AI）の急成長によるデータセンタール構築と省エネに際する電子部品が求められるなど、関連測定器の需要増加を期待する。24年度以降も電圧・電流・電力測定器の需要は伸長、28年度は66億円を予想する。

こうした中、共立電気計器は三相コンセントテスター「KEW4555BT」を25年春に発売予定だ。接地極付き三相コンセントの電圧と検相、配線チェ



竣工検査や保守に必要な 測定機能が詰まった1台！

EVSEアダプタとの併用で
EV普通充電器の試験も
スマートに実施



アプリにもデータが保存できます

マルチファンクションテスター KEW 6514BT

www.kew-ltd.co.jp

くわしくは公式ウェブサイトで確認ください

共立電気計器株式会社